

MICROSOFT サービス規約およびマイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項の追加契約

MICROSOFT OFFICE PERSONAL PREMIUM MICROSOFT OFFICE HOME & BUSINESS PREMIUM MICROSOFT OFFICE PROFESSIONAL PREMIUM MICROSOFT OFFICE 365 SOLO

Microsoft Office Premium または Office 365 Solo 製品をお選びいただきありがとうございます。本文は、お客様と Microsoft Corporation (またはお客様の所在地に応じた関連会社。以下、「マイクロソフト」といいます) の間で締結される、Microsoft Office Premium および Office 365 Solo のサービスおよびソフトウェアの使用権を定めた契約書です。

使用頻度の高い用語の一部について、以下に定義を示します。

- 本追加契約で使用する場合、「Office 365 Consumer Subscription」とは、Microsoft Office Premium 製品 (Personal、Home & Business、および Professional を通じて利用できる「Office 365 サービス」の一部) または Office 365 Solo に含まれる、Office 365 コンシューマー サブスクリプション サービスまたはソフトウェアを意味します。
- 「Office ソフトウェア」とは、Microsoft Office Premium 製品 (Personal、Home & Business、および Professional) の一部としてお客様の PC にプレインストールされている Microsoft Office「クライアント」ソフトウェアを意味します。
- 「本サービス」という記述は一般的に、Office 365 Consumer Subscription サービスを意味します。
- 「本ソフトウェア」という記述は一般的に、Office 365 Consumer Subscription ソフトウェアと Office ソフトウェアの両方を意味します。

お客様による Office 365 Consumer Subscription の使用には、Microsoft アカウントへの登録時に同意された Microsoft サービス規約の契約条件、および本追加契約の契約条件が適用されます。お客様による Office ソフトウェアの使用には、本追加契約の契約条件が適用されます。便宜上、本追加契約は 2 つの部分で構成されています。最初の部分には、導入的な条項が記載されています。その後続く追加条項および Office ソフトウェア品質保証規定には、内容がより詳細に記載されています。すべての条項が重要であり、お客様に適用される本契約を形成するため、リンク先の条項を含む本追加契約全文を確認してください。お客様は、使用しているブラウザ ウィンドウに転送リンクを貼り付けることで、リンク先の条項を確認できます。Microsoft サービス規約と本追加契約の間に矛盾がある場合は、本追加契約が適用されます。ライセンスを取得したデバイスに本ソフトウェアをインストールまたは使用する場合、別途のライセンスが表示されることがあります。かかる別途のライセンスが本追加契約と矛盾する場合は、別途のライセンスが適用されます。

お客様は、本契約に同意することにより、または本ソフトウェアもしくは本サービスを使用することにより、以下のすべての条項に同意し、ライセンス認証中および本ソフトウェアもしくは本サービスのインターネット ベースの機能において、特定の情報が送信されることに同意するものとします。お客様がこれらの条項に同意せず、またこれらの条項を遵守しない場合、本サービスおよび本ソフトウェアを使用することはできません。この場合、購入店またはインストール業者に問い合わせ、返品方針を確認してください。この方針に基づいて Office ソフトウェアまたはコンピューターを返品し、お支払いいただいた金額の払い戻しを受けられる場合があります。お客様は、この方針に従わなければなりません。この方針により、お客様は、払い戻しを受けるために Office ソフトウェアと共に、本ソフトウェアがインストールされているコンピューター全体を返品することが求められる場合があります。

本ソフトウェアはどのように使用できますか。 当社は本ソフトウェアまたはその複製をお客様に販売するものではなく、その使用許諾を与えるものです。マイクロソフトは、マイクロソフトのライセンス許諾の下、お客様が本追加契約のすべての条項に従うことを条件として、一度に 1 人のユーザーが 1 台のライセンスを取得したデバイス (最初にライセンスを取得したデバイス) に本ソフトウェアの複製 1 部をインストールして実行する権利を許諾します。Microsoft アカウントが最初にライセンスを取得したデバイスのソフトウェア ライセンスに関連付けられているユーザーは、「ライセンスを保有するサブスクリパー」です。お客様が日本国内に居住している場合、または日本国内に居住したときに Microsoft Office Premium もしくは Office 365 Solo 製品を入手した場合、本追

加契約のすべての条項に従うことを条件として、マイクロソフトは、ライセンスを取得したデバイス（最初にライセンスを取得したデバイスを含みます）に本ソフトウェアの複製をインストールして実行する以下の権利をマイクロソフトのライセンス許諾の下、お客様に許諾します。

- Office Personal Premium、Office Home & Business Premium、および Office Professional Premium。
 - (1) Office ソフトウェア。本ソフトウェアがブレインストールされている 1 台の PC 上で使用できます。
 - (2) Office 365 Consumer Subscription。1 台のタブレットにインストールして、ライセンスを保有するサブスクライバーのみが使用できます。¹
- Office 365 Solo。2 台の PC または Mac と 1 台のタブレットにインストールして、ライセンスを保有するサブスクライバーのみが使用できます。¹

¹ Higher Education Student Entitlement for Office 365 Consumer Subscription の「アカデミック パック使用対象者」に適用される資格および要件については、「追加条項」をご参照ください。

一度に 1 人のユーザーのみが、ライセンスを取得した各デバイス上で本ソフトウェアを使用することができます。本ソフトウェアのコンポーネントは 1 つの製品として許諾されているため、お客様はコンポーネントを分離または仮想化し、複数のデバイスにインストールすることはできません。下記「リモート アクセス」に規定されている許諾された使用方法を除き、本ライセンスは、キーボード、マウス、タッチスクリーンなど、ライセンスを取得したデバイスの入力機構を通じて本ソフトウェアを直接使用する場合にのみ許諾されます。本ライセンスでは、本ソフトウェアを、サーバー上にインストールすること、および内部もしくは外部ネットワーク上のサーバーに接続されているその他のデバイスで、またはかかるデバイスを介して使用することは許諾されません。また、本ソフトウェアは商用ホスティングのためにライセンスされるものではありません。マルチユーザー シナリオおよび仮想化の詳細については、「追加条項」をご参照ください。

Office ソフトウェアのバックアップ用の複製を入手する方法を教えてください。お客様は、Office ソフトウェアのバックアップ用の複製を microsoft.com/office/backup から注文またはダウンロードすることができます。お客様は、本ソフトウェアのバックアップ用の複製を頒布することはできません。バックアップ用の複製は、お客様が本ソフトウェアを、ライセンスを取得したコンピューターに再インストールする場合に限り使用することができます。

Office 365 Consumer Subscription ソフトウェアの使用期間は几日ですか。Office 365 Consumer Subscription サービスおよびソフトウェアを使用するお客様の権利は、サブスクリプション期間内に限定されます。お客様は、サブスクリプション期間を延長するオプションを留保します。サブスクリプション期間を延長する場合、お客様は延長されたサブスクリプション期間の終了まで本サービスおよび本ソフトウェアを使用することができます。サブスクリプションの詳細については、本ソフトウェアのライセンス認証に関する画面またはその他の付属する資料をご参照ください。サブスクリプション期間の終了後、本サービスおよび本ソフトウェアの大部分の機能は実行できなくなります。

本ソフトウェアを別のデバイスに移管したり、別のユーザーに譲渡したりできますか。Office ソフトウェアは、ライセンスを取得したデバイス、Certificate of Authenticity ラベル、および本契約が付属している場合のみ直接第三者に譲渡することができます。譲渡の前に、Office ソフトウェアの譲受者は本契約が譲渡および Office ソフトウェアの使用に適用されることに同意しなければなりません。お客様は本ソフトウェアの複製を一切保持することができません。

Office 365 Consumer Subscription ソフトウェア ライセンスを譲渡することは禁止されています。お客様は、上記のインストールおよび使用に関する権利に従って、Office 365 Consumer Subscription ソフトウェア ライセンスをお客様が所有する別のデバイスに移管することができます。お客様が Office 365 Consumer Subscription ソフトウェア ライセンスを新しいデバイスに移管した場合は、以前のデバイスでは本ソフトウェアを実行できなくなります。

インターネットでのライセンス認証はどのように行われますか。ライセンス認証を行うことにより、特定のデバイスと本サービスおよび本ソフトウェアの使用が関連付けられます。ライセンス認証は、ソフトウェア ライセンスが割り当てられているライセンスを取得したデバイスごとに行う必要があります。ライセンス認証中に、本ソフトウェアによってマイクロソフトまたはその関連会社への問い合わせが自動的に行われ、当該ライセンスがライセンスを取

得したデバイスに関連付けられていることが確認されます。ライセンス認証は、本ソフトウェアのライセンス機能またはライセンス認証機能への不正な変更を特定したり、本ソフトウェアの不正使用を防止したりすることを目的としているため、お客様は、**ライセンス認証が認められた期間の終了後に本サービスまたは本ソフトウェアを使用する権利を有しておらず、ライセンス認証を無視または回避することは禁止されます**。お客様が、ライセンス認証が認められた期間中にプロダクト キーを入力されなかった場合、本サービスまたは本ソフトウェアの大部分の機能は実行できなくなります。

本ソフトウェアによって個人情報が収集されますか。お客様がお客様のデバイスをインターネットに接続すると、本サービスまたは本ソフトウェアの一部の機能によって、マイクロソフトまたはサービス プロバイダーのコンピューター システムに接続されて、情報が送受信される場合があります。接続が行われる際、お客様に対する個別の通知は行われず場合があります。お客様は、このような機能を使用することを選択した場合、その機能の使用時にこの情報が送受信されることに同意するものとします。これらの機能の多くは、無効にするか、使用しないように選択することができます。

個人情報はどのように使用されるのですか。マイクロソフトは、本サービスおよび本ソフトウェアの機能を通じて収集した情報を、本サービスおよび本ソフトウェアのアップグレードまたは修正、ならびにユーザー エクスペリエンスのパーソナライズ、またはマイクロソフト製品およびサービスの向上に使用します。マイクロソフトは、お客様を特定してお客様に連絡するために、マイクロソフトが収集したこの情報を使用することがあります。場合によっては、マイクロソフトは、マイクロソフト製品およびサービスを向上するために、第三者とも情報を共有します。たとえば、エラー報告は関連するハードウェアおよびソフトウェア ベンダーと共有され、マイクロソフト製品とこれらのベンダー製品との連動性を改善するためにこの情報が使用される場合があります。お客様は、マイクロソフトが、r.office.microsoft.com/r/rliid00PrivacyState15HighLight?clid=1041 で確認できるマイクロソフトの「プライバシーに関する声明」の規定に従い、情報を使用および公開することができることに同意するものとします。

本契約の適用対象は何ですか。本契約は、本ソフトウェアおよび本サービス、お客様が本ソフトウェアを受領したときはそのメディア、ならびに本サービスまたは本ソフトウェアに関連するマイクロソフトの更新プログラム、追加ソフトウェア、およびサービスにも適用されます。ただし、これらに別途ライセンス条項が付属している場合は、その限りではありません。

本ソフトウェアで許可されない行為などがありますか。はい。本ソフトウェアはライセンス許諾されるものであり、販売されるものではないため、本契約において明示的に許諾されていない権利（知的財産に関する法律に基づく権利など）はすべてマイクロソフトが保有します。特にこのライセンスは、次の行為に関してお客様にいかなる権利も与えるものではなく、お客様は次の行為を行うことはできません。本ソフトウェアの機能を個別に使用または仮想化すること。本ソフトウェアを公開、複製（Office ソフトウェアの許諾されたバックアップ用の複製を除く）、レンタル、リース、または貸与すること。本ソフトウェアを譲渡すること（本契約で許諾されている場合を除く）。本ソフトウェアの技術上の保護手段の回避を試みる。本ソフトウェアをリバース エンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすること。ただし、マイクロソフトの契約で認められていない場合でも、お客様が所在する地域の法律で認められている場合は除きます。その場合は、地域の法律上許容される行為に限って行うことができます。お客様は、インターネット ベースの機能を使用している場合、第三者によるそれらの機能の使用を妨げる可能性のある方法で、またはサービス、データ、アカウント、もしくはネットワークに不正な方法でアクセスを試みるために、これらの機能を使用することはできません。

本ソフトウェアのアップグレードまたは移行について教えてください。お客様が本契約の対象となる本ソフトウェアを、お客様の既存のソフトウェアのアップグレードまたは移行としてインストールする場合、かかるアップグレードまたは移行によって、お客様がアップグレードまたは移行しようとしている元のソフトウェアが置き換えられます。アップグレード後、お客様は当初のソフトウェアに対していかなる権利も持たず、引き続きこれを使用したり譲渡したりすることはできません。本契約は、アップグレード後のソフトウェアを使用するお客様の権利を取り決めたものであり、アップグレード前のソフトウェアの条項に優先します。

追加条項

A. ライセンスに関する権利とマルチユーザー シナリオ

1. **デバイス。**本契約では、「デバイス」とは、本ソフトウェアを実行することのできる、記憶装置を搭載したコ

ンピューター ハードウェア システム (物理的システムまたは仮想システム) またはモバイル デバイスを意味します。ハードウェアのパーティションまたはブレードはデバイスとみなされます。

2. 複数接続またはプールされた接続。お客様は、マルチプレキシング (多重化) または接続をプールするためにハードウェアまたはソフトウェアを使用することはできず、複数のユーザーまたは複数のデバイスが、ライセンスを取得したデバイスを介して間接的に本ソフトウェアにアクセスまたは本ソフトウェアを使用できるようにすることもできません。

3. 仮想化された環境における使用。お客様は、クライアント Hyper-V を含む仮想化ソフトウェアを使用して単一のコンピューター ハードウェア システムに 1 台以上の仮想デバイスを作成する場合、各仮想デバイスおよび物理的デバイスは、本契約の目的上、別個のデバイスとみなされます。本ライセンスでは、物理的デバイスであるか仮想デバイスであるかにかかわらず、ライセンスを取得した各デバイスに本ソフトウェアの複製 1 部のみをインストールして使用することが許諾されます。お客様は、本ソフトウェアを仮想化する場合、本ソフトウェアの別個の複製を取得し、複製ごとに別途ライセンスを取得しなければなりません。仮想化された環境では、デジタル著作権管理技術またはその他のフル ボリューム ディスク ドライブの暗号化テクノロジーで保護されたコンテンツのセキュリティ レベルは低い場合があります。

4. リモート アクセス。ライセンスを保有するサブスクリパーは、ライセンスを取得したデバイスにインストールされた本ソフトウェアに、他のデバイスからリモート アクセスして使用することができます。ただし、ライセンスを取得したデバイスにインストールされた本ソフトウェアが、別のユーザーによってリモート アクセス以外の方法で同時に使用されていない場合に限ります。例外として、お客様は、お客様にテクニカル サービスを提供する目的に限り、他のユーザーが本ソフトウェアに同時にアクセスすることを許可できます。

B. ライセンス認証

1. ライセンス認証の仕組みの詳細。ライセンス認証中、本ソフトウェアにより本ソフトウェアおよびお客様のデバイスに関する情報がマイクロソフトに送信されます。この情報には、本ソフトウェアのバージョン、ライセンスバージョン、言語、プロダクト キーのほか、デバイスのインターネット プロトコル アドレス、およびデバイスのハードウェア構成から派生した情報が含まれます。ライセンス認証の詳細については、microsoft.com/piracy/activation.mspix をご参照ください。ライセンスを取得したデバイスがインターネットに接続されている場合、本ソフトウェアはマイクロソフトに自動的に接続してライセンス認証を行います。本ソフトウェアのライセンス認証は、インターネットにより手動で行うこともできます。インターネットのご利用に際しては、別途通信料金が発生することがあります。

2. 再ライセンス認証。お客様がデバイス構成を変更した場合や、本ソフトウェアの設定を変更した場合には、本ソフトウェアの再ライセンス認証を行う必要が生じることがあります。

3. ライセンス認証の失敗。オンラインでのライセンス認証中、本ソフトウェアのライセンス機能またはライセンス認証機能が偽造されているか、ライセンスが正式に取得されていないことが確認された場合、ライセンス認証は失敗します。本ソフトウェアは、インストールされた本ソフトウェアの複製のライセンスが正式に取得されているかどうかをお客様に通知します。また、適切にライセンスを取得したソフトウェアの複製を取得するよう求める通知がお客様に表示されます。

4. 更新プログラムおよびアップグレード。お客様は、マイクロソフトまたは正規マイクロソフト販売代理店からのみ、本ソフトウェアの更新プログラムまたはアップグレードを入手することができます。特定のアップグレード、サポート、およびその他のサービスは、正規のマイクロソフト ソフトウェアのユーザーにのみ提供される場合があります。正規のマイクロソフト ソフトウェアを識別する方法については、howtotell.com をご覧ください。

C. インターネット ベースの機能、プライバシー

以下のソフトウェア機能はインターネット プロトコルを使用しており、お客様のインターネット プロトコル (IP) アドレス、オペレーティング システムの種類、ブラウザの種類、使用している本ソフトウェアの名称およびバージョン、ならびに本ソフトウェアをインストールしたデバイスの言語コードなどのデバイス情報をマイクロソフト (またはそのサプライヤーもしくはサービス プロバイダー) に送信します。マイクロソフトは、r.office.microsoft.com/r/rliidOOPrivacyState15HighLight?clid=1041 の「Office のプライバシーに関する声明」

に従って、お客様にインターネット ベースの機能を提供するためにこれらの情報を利用します。一部のインターネット ベースの機能は、後日、マイクロソフトの更新サービスを介して提供されることがあります。

1. インターネット ベースのサービスに関する同意。以下の条項および「Office のプライバシーに関する声明」に記載されているソフトウェア機能は、インターネットを経由してマイクロソフトまたはサービス プロバイダーのコンピューター システムに接続します。接続が行われた際、通知が行われない場合があります。お客様は、場合によって、これらの機能を解除するか、または使用しないことができます。これらの機能の詳細については、r.office.microsoft.com/r/rlidOOPrivacyState15HighLight?clid=1041 の「Office のプライバシーに関する声明」をご参照ください。これらの機能を使用することで、お客様は下記の情報の送信に同意されたものとします。マイクロソフトがこの情報を利用してお客様個人を特定したり、お客様に連絡したりすることはありません。

2. Office パーソナライゼーション エクスペリエンス プログラム (OPEP) (Office 365 Consumer Subscription のみに該当)。お客様は、Office 365 Consumer Subscription の使用に関して OPEP に参加するオプションを留保します。お客様が参加された場合、OPEP は、お客様のハードウェア、ならびにかかるソフトウェアおよびマイクロソフト サービスの使用法に関する情報をマイクロソフトに自動的に送信します。マイクロソフトは、傾向および使用パターンを識別し、お客様のエクスペリエンスをパーソナライズして Office 365 ソフトウェアおよびサービスを向上できるようにするために、この情報を収集します。マイクロソフトは、お客様を特定してお客様に連絡するために、収集した情報を使用することがあります。OPEP は、お客様のデバイスに小さなファイルを定期的にダウンロードします。このファイルは、お客様が本ソフトウェアおよび本サービスを使用している間に発生した問題に関する情報をマイクロソフトが収集するために役立ちます。ソフトウェアのエラーに関する新しいヘルプ情報が利用可能な場合は、その情報も自動的にダウンロードされます。お客様が本ソフトウェアの最初の実行時に推奨設定を選択した場合、OPEP は有効になっています。OPEP の詳細については、o15.officeredir.microsoft.com/r/rlidOfficeLegal?clid=1041 をご参照ください。

3. カスタマー エクスペリエンス向上プログラム (CEIP) (Office ソフトウェアのみに該当)。Office ソフトウェアは、CEIP を使用します。CEIP は、お客様のハードウェアおよび本ソフトウェアの使用法に関する情報をマイクロソフトに送信します。マイクロソフトが、この情報を使用してお客様を特定したり、お客様に連絡したりすることはありません。CEIP は、お客様のコンピューターに小さなファイルを定期的にダウンロードします。このファイルは、お客様が本ソフトウェアを使用している間に発生した問題に関する情報をマイクロソフトが収集するために役立ちます。エラーに関する新しいヘルプ情報が利用可能な場合は、その情報も自動的にダウンロードされます。CEIP の詳細については、microsoft.com/products/ceip/JA-JP/privacypolicy.mspx をご参照ください。

4. オンライン機能およびコンテンツ。本サービスおよび本ソフトウェアには、オンライン コンテンツをマイクロソフトから取得し、お客様に提供する機能が含まれます。また、特定の機能では、お客様がオンラインで情報を検索し、かかる情報にアクセスできる場合もあります。これらの機能の例としては、クリップ アート、テンプレート、オンライン トレーニング、オンライン アシスタンスおよびヘルプ、ならびに予定表上の Outlook Weather が挙げられます。お客様が Office.com で提供されているテンプレートを保存した場合、情報がオンラインでマイクロソフトに送信されます。かかる情報にはテンプレートを特定する情報などが含まれますが、お客様が当該テンプレートを使用して作成したドキュメントは送信されません。この情報は、お客様が要求するコンテンツをお客様に提供するため、ならびにマイクロソフトのサービスおよびソフトウェアを改善するために使用されます。お客様は、これらのオンライン機能およびコンテンツを使用しないことも選択できます。詳細については、本契約の最後にあるリンク先に掲載されている「Office のプライバシーに関する声明」をご参照ください。

5. Cookie。お客様が、本サービスおよび本ソフトウェアでオンライン アシスタンス、オンライン ヘルプ、テンプレートなどのオンライン機能を使用することを選択した場合、Cookie が設定される場合があります。Cookie をブロック、制御、および削除する方法については、本契約の最後にあるリンク先に掲載されている「Office のプライバシーに関する声明」に記載されている Cookie に関する項をご参照ください。

6. Office ローミング サービス。お客様は、お客様の Microsoft アカウントを使用して本ソフトウェアおよび本サービスにサインインすることを選択した場合、Office ローミング サービスを有効にすることになります。Office ローミング サービスを有効にすると、特定の設定 (お客様の最近使ったドキュメントの一覧、お客様のユーザー辞書、およびお客様の視覚テーマを含みます) がマイクロソフトのサーバーにオンラインで送信されます。かかる設定は、当該サーバーに保存され、お客様が次回お客様の Microsoft アカウントを使用して当該サービ

スにサインインするときお客様のデバイスにダウンロードされます。Office ローミング サービスの詳細については、本契約の最後にあるリンク先に掲載されている「Office のプライバシーに関する声明」をご参照ください。

7. Windows 8 上の Office。お客様は、Windows 8 デバイスで本ソフトウェアを実行しており、本ソフトウェアのオンライン機能およびコンテンツを有効にしている場合、Microsoft アカウントで Windows 8 にサインインすると、同じ Microsoft アカウントを使用して本ソフトウェアに自動的にサインインすることになります。これにより、お客様の Microsoft アカウントのユーザー名およびパスワードを再入力するよう求められることなく、オンラインファイルを OneDrive に保存してかかるファイルにアクセスしたり、Office ローミング サービスを活用したりすることができます。Microsoft アカウントで本サービスおよび本ソフトウェアにサインインする方法および Office ローミング サービスの詳細については、本契約の最後にあるリンク先に掲載されている「Office のプライバシーに関する声明」をご参照ください。

8. デジタル証明書。本ソフトウェアはデジタル証明書を使用しています。これらのデジタル証明書は、X.509 標準暗号化情報を使用し、インターネット ユーザーの身元を特定します。電子認証をファイルやマクロの電子署名に使用して、ファイルの内容についての整合性や作成元を証明することもできます。本ソフトウェアは、インターネットが使用できる場合はそれを使用して、証明書を取得し、証明書失効リストを更新します。

9. 自動更新。Click-to-Run テクノロジー搭載のソフトウェアでは、本ソフトウェアの更新プログラムおよび追加ソフトウェアの有無についての確認がマイクロソフトに対して定期的に行われることがあります。更新プログラムおよび追加ソフトウェアが確認された場合、お客様のライセンスを取得したデバイスに自動的にダウンロードされ、インストールされることがあります。

10. 情報の使用。マイクロソフトでは、ソフトウェアの改善およびサービスの向上を目的として、デバイスの情報、エラー報告、およびマルウェア報告を使用することがあります。また、ハードウェア ベンダーやソフトウェア ベンダーなど、他の企業と情報を共有する場合があります。これらの第三者は、マイクロソフト ソフトウェアと連携して動作する自社製品の改良のため、この情報を使用することがあります。

11. インターネット ベースのサービスの不正使用。お客様は、これらのサービスに損害を及ぼす可能性のある方法、または第三者によるこれらのサービスの使用を妨げる可能性のある方法で、これらのサービスを使用することはできません。また、サービス、データ、アカウント、またはネットワークへの不正アクセスを試みるためにこれらのサービスを使用することは一切禁じられています。

12. 情報権利管理。本ソフトウェアには、お客様の許可なく印刷、複製、第三者への送信ができないコンテンツを作成する機能が含まれています。お客様は、この機能を初めて使用する際に、マイクロソフトに接続する必要がある場合があります。また、この機能を更新するために、定期的にマイクロソフトに再接続する必要がある場合があります。詳細については、o15.officeredir.microsoft.com/r/rlidIRMHelp?clid=1041 をご参照ください。この機能を使用しないように選択することもできます。

D. 追加のライセンス制限、条件、および使用権

1. Higher Education Student Entitlement。お客様は、Higher Education Student Entitlement for Office 365 Consumer Subscription に登録して使用するには、アカデミック パック使用対象者でなければなりません。自身がアカデミック パック使用対象者かどうかを知りたい場合は、microsoft.com/education を参照するか、最寄りのマイクロソフト関連会社までご連絡ください。

2. 再販禁止ソフトウェアおよびサブスクリプション (「Not For Resale」または「NFR」)。再販禁止ソフトウェアまたはサブスクリプション カードもしくはソフトウェアは、限定された目的のために頒布されています。お客様は、「NFR」または「Not for Resale」の表示のあるサブスクリプション カードまたはソフトウェアを販売することはできません。

3. 第三者のプログラム。本ソフトウェアには、第三者ではなく、本契約に基づいてマイクロソフトからお客様にライセンスされる第三者のプログラムが含まれていることがあります。第三者のプログラムの注意事項がある場合は、お客様への参考情報としてのみ含まれます。

4. フォント コンポーネント。本ソフトウェアの実行中、お客様は本ソフトウェアに付属のフォントを使用してコン

テンツを表示および印刷することができます。お客様は、コンテンツを印刷するためにフォントをプリンターまたはその他の出力デバイスに一時的にダウンロードしたり、フォントの埋め込みに関する制限の下で許容される範囲でコンテンツにフォントを埋め込んだりすることができます。

5. メディア要素。マイクロソフトは、本サービスおよび本ソフトウェアのプロジェクトおよびドキュメントに含まれているメディア要素（画像、クリップ アート、アニメーション、音声、音楽、ビデオ クリップ、テンプレート、およびその他の形式のコンテンツ）を複製、頒布、実行、および表示するライセンスをお客様に許諾します。ただし、お客様は、(i) メディア要素の複製を単独で、またはメディア要素が製品の主要な価値を有する製品として販売、使用許諾、または頒布すること、(ii) メディア要素をさらに使用許諾または頒布する権利をお客様の顧客に与えること、(iii) 個人、政府機関、ロゴ、商標、またはエンブレムの識別可能な表現を含むメディア要素を商業目的で使用許諾もしくは頒布すること、またはお客様の製品、組織、もしくは活動を推奨するか、それらとの関連を示唆するような方法でこのような種類のイメージを使用すること、または (iv) メディア要素を使用して、猥褻または公序良俗に反する作品を作成することはできません。Office 機能を介して他の Web サイトでアクセスできるその他のメディア要素には、当該 Web サイトの条項が適用されます。

6. 試用版および移行。本サービスまたは本ソフトウェアは、一部または全体が試用版ベースでライセンスされることがあります。試用版のサービスおよびソフトウェアを使用するお客様の権利は、試用期間内に限定されます。試用版のサービスおよびソフトウェア、ならびに当該試用サブスクリプションは、そのライセンス認証プロセス中に示されます。お客様は、試用版に関する権利をサブスクリプションまたは永続的な権利に移行するオプションを留保します。移行するオプションは、試用期間の終了時にお客様に提示されます。権利を移行することなく試用期間が終了すると、試用版のサービスおよびソフトウェアの大部分の機能は実行できなくなります。

E. 地理的制約と輸出規制

Office ソフトウェアに特定地域でのライセンス認証を求める表示がある場合、お客様は本ソフトウェアまたはコンピューター パッケージに示された地域でのみ Office ソフトウェアをライセンス認証することが許可されます。Office ソフトウェアを当該地域外でライセンス認証することはできません。詳細については、go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=141397 をご参照ください。

お客様は、Office 365 Consumer Subscription サービスまたはソフトウェアを取得した地域でのみ、当該サービスまたはソフトウェアを使用することができます。マイクロソフトのソフトウェアおよびサービスは、米国およびその他の管轄地域における輸出および技術に関する法律の対象となります。お客様は、本ソフトウェアおよび本サービスに適用される、当該すべての法律および規制を遵守することに同意するものとします。

かかるソフトウェアおよびサービスを禁輸措置対象国または特定の規制対象当事者に譲渡するには、米国政府の許可が必要です（詳細については、treasury.gov/resource-center/Documents/soc_net.pdf をご参照ください）。また、有料サービスは、米国および日本国の輸出に関する規制の対象となります。お客様は、適用されるすべての国内法および国際法（輸出対象国、エンド ユーザーおよびエンド ユーザーによる使用に関する制限を含みます）を遵守しなければなりません。詳細については www.microsoft.com/japan/exporting をご参照ください。

F. サポートおよび Office ソフトウェアの払い戻し手続き

1. Office 365 Consumer Subscription サポート。Office 365 Consumer Subscription の限定カスタマーサポートは、office.com/support（ヘルプと使い方）および support.microsoft.com/ph/13615（テクニカル サポート）から利用できます。

2. Office ソフトウェア サポートおよび払い戻し手続き。Office ソフトウェア全般のサポート オプションについては、購入店またはインストール業者にお問い合わせください。その際、本ソフトウェアと共に提供されるサポート番号をお知らせください。マイクロソフトから直接入手された更新プログラムまたは追加ソフトウェアについては、マイクロソフトから限定サポート サービスを提供することがあります。

support.microsoft.com/common/international.aspx をご参照ください。ライセンスを正規に取得していないソフトウェアを使用した場合、お客様は、サポート サービスを受けることができなくなります。

お客様が払い戻しを要求する場合、購入店またはインストール業者に問い合わせ、お支払いいただいた金額の払い戻しに対する返品方針を確認してください。お客様は、この方針に従わなければなりません。この方針により、お客様は、払い戻しを受けるために本ソフトウェアと共に、本ソフトウェアがインストールされているコンピューター全体を返品することが求められる場合があります。

G. 法の選択

お客様が本サービスまたは本ソフトウェアを日本国内で入手された場合、本契約の解釈は日本国法に準拠するものとします。お客様が本ソフトウェアを日本国以外の国で入手された場合、本契約は適用される地域法に準拠するものとします。本契約は、特定の法的な権利を規定します。お客様は、地域や国によっては、本契約の定めにかかわらず、消費者としての権利など、本契約と異なる権利を有する場合があります。また、お客様は本ソフトウェアの取得取引の相手方に対して権利を取得できる場合もあります。本契約は、お客様の地域または国の法律がその法律に基づく権利の変更を許容しない場合、それらの権利を変更しないものとします。

H. 完全合意

本追加契約（ならびにマイクロソフトが提供してお客様が使用する任意の追加ソフトウェア、更新プログラム、およびサービスに付属する条項、およびライセンスを取得したデバイスに本ソフトウェアをインストールして使用する際に表示されることがある別途のライセンス）および本追加契約に記載されている Web リンクに掲載されている条項は、本サービスおよび本ソフトウェアならびに当該追加ソフトウェア、更新プログラム、およびサービスに関する完全なる合意です（ただし、マイクロソフトが、当該追加ソフトウェア、更新プログラム、またはサービスについてその他の条項を提供している場合は、この限りではありません）。本追加契約は、本ソフトウェアの実行後、本ソフトウェアの [ヘルプ] 画面を表示し、[マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項] リンクをクリックすることによって確認できます。また、本契約に記載されているリンク先に掲載されている条項は、使用しているブラウザのアドレス バーにその URL を入力することでも確認できます。お客様は、かかる条項を確認することに同意するものとします。お客様は、本サービスを使用することによって、本追加契約およびリンク先の条項に同意することになることを理解するものとします。また、本契約には情報が掲載されているリンクも記載されています。お客様とマイクロソフトが法的拘束力を受ける条項が記載されたリンクは、以下のとおりです。

- ・ r.office.microsoft.com/r/rlidOOPrivacyState15HighLight?clid=1041 (Office のプライバシーに関する声明)
- ・ go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=246338 (Microsoft サービス規約)

小売向け品質保証規定 (Office ソフトウェア限定)

マイクロソフトは、Office ソフトウェアに品質保証規定を設けていますか。はい。Office ソフトウェアについては設けていますが、Office 365 Consumer Subscription、または現状有姿のまま瑕疵を問わない条件で提供され、明示的な瑕疵担保責任または保証責任が存在しない試用版ソフトウェアについては設けていません。マイクロソフトは、適切にライセンスを取得した Office ソフトウェアが実質的に、Office ソフトウェアに付属しているマイクロソフト資料に説明されているとおり動作することを保証します。この品質保証規定では、お客様が原因となって生じた問題、すなわち、弊社の指示にお客様が従わなかったことで生じた問題や、マイクロソフトの合理的な支配の及ばない事柄に起因して発生した問題を対象としていません。品質保証規定は、Office ソフトウェアの複製の最初のユーザーがその複製を取得した日から発効し、その後 1 年間有効です。その 1 年間にお客様がマイクロソフトから受け取ることのできる、Office ソフトウェアのすべての追加ソフトウェア、更新プログラム、および交換ソフトウェアも保証の対象となりますが、その場合は、1 年のうち、その残りの日数か、または 30 日のいずれか長いほうの期間となります。Office ソフトウェアを譲渡しても、その品質保証規定の期間が延長されることはありません。マイクロソフトは、その他の明示的な保証は一切行いません。マイクロソフトは、商品性、特定目的に対する適合性、非侵害性に関する黙示の保証については一切責任を負いません。地域の法律により、黙示の保証の制限がマイクロソフトに認められていない場合、黙示の保証は品質保証規定期間中に限り、法律上許容される最大限の範囲でお客様に与えられるものとします。お客様の地域の法律によって、より長い有効期間が品質保証規定に求められる場合、本契約にかかわらず、そのより長い期間が適用されます。ただし、お客様に対する救済手段は、本契約に規定されている救済手段に限定されます。本契約の後半の条文では、本品質保証

規定の下で保証の請求方法について規定します。

マイクロソフトが保証に違反した場合、どうなりますか。マイクロソフトが品質保証規定に違反した場合、救済方法として Office ソフトウェアを修理するか、または交換いたします。または、修理あるいは交換の代わりに、Office ソフトウェアの購入にお客様が支払った金額を払い戻すこともできます。払い戻しを受けるには、**Office** ソフトウェアをアンインストールし、そのメディアを領収書と共にマイクロソフトに返送する必要があります。

マイクロソフトが本契約のいずれかに違反したら、どうなりますか。マイクロソフトから損害賠償を受ける正当な根拠がある場合、**OFFICE** ソフトウェアに対してお客様が支払った金額を上限に直接損害に対する補償を受けることができます。その他の損害（派生的損害、逸失利益、特別損害、間接損害、および付随的損害を含みますがこれらに限定されません）に関しては、一切責任を負いません。本契約に規定する損害の除外および制限は、Office ソフトウェアの修理、交換、または返金によってもお客様の損失が完全に補償されない場合、および、マイクロソフトがこのような損害の可能性を認識していたか、または認識し得た場合にも適用されます。一部の地域または国では付随的損害、派生的損害、または他の損害の免責または責任の制限が認められないため、かかる責任の制限または免責がお客様に適用されない場合があります。マイクロソフトが認めないにもかかわらず、お客様の所在国の法律により、お客様がその他の損害に対して補償を要求することが認められていても、**OFFICE** ソフトウェアにお客様が支払った額を超えることはできません。

保証に関するお問い合わせ（Office ソフトウェア限定）

品質保証規定の下、領収書などのご購入の証明が必要になります。

1. 米国およびカナダ。米国またはカナダで入手された本ソフトウェアに関する品質保証サービスまたは返金に関して不明な点がございましたら、(800) MICROSOFT まで電話でご連絡いただくか、Microsoft Customer Service and Support, One Microsoft Way, Redmond, WA 98052-6399 まで郵便でご連絡いただくか、または microsoft.com/info/nareturns.htm をご覧ください。
2. ヨーロッパ、中東、およびアフリカ。Office ソフトウェアをヨーロッパ、中東、またはアフリカで入手された場合、Microsoft Ireland Operations Limited がこの品質保証規定を履行します。保証サービスの履行をお求めの場合は、Microsoft Ireland Operations Limited, Customer Care Centre, Atrium Building Block B, Carmanhall Road, Sandyford Industrial Estate, Dublin 18, Ireland か、またはお客様の地域のマイクロソフト関連会社 (microsoft.com/worldwide) までお問い合わせください。
3. オーストラリア。オーストラリアで Office ソフトウェアを入手された場合は、13 20 58 まで電話でお問い合わせいただくか、Microsoft Pty Ltd, 1 Epping Road, North Ryde NSW 2113 Australia まで郵便でお問い合わせいただき、請求を行ってください。
4. その他の国。上記の国以外で Office ソフトウェアを入手された場合は、最寄りのマイクロソフトの関連会社までご連絡ください。連絡先については、microsoft.com/worldwide をご参照ください。